

2017年3月22日

広島県との「災害対応に関する協定」の締結について

損害保険ジャパン日本興亜株式会社（社長：西澤 敬二、以下「損保ジャパン日本興亜」）は、広島県（知事：湯崎 英彦）と「災害対応に関する協定」を3月22日に締結したことをお知らせします。

1. 背景・経緯

損保ジャパン日本興亜は、「災害死ゼロ」の実現に向けて「みんなで減災」県民総ぐるみ運動を推進されている広島県の活動に共鳴したことから、これまで保険会社として災害時におけるドローンを活用した被害情報の収集や平常時における防災力向上の取組みで培ってきたノウハウを活かした本協定を広島県に提案し、このたび締結に至ったものです。

2. 協定の目的

保険会社として培ったノウハウを活かして、災害等から広島県民の生命・身体および財産を守り、広島県の防災力向上に向けた取組みを支援することを目的としています。

3. 協定の内容

（1）災害時

損保ジャパン日本興亜が保有するドローンを活用し、「被災状況の把握」「被災者の捜索」などの災害対策支援を実施します。

（2）平常時

「災害に強い広島県」に向けて、防災・減災に関する各種啓発活動を実行します。

- ①「みんなで減災」県民総ぐるみ運動の推進（当社代理店を通じた啓発活動）
- ②こども向け防災教育プログラム「防災ジャパングプロジェクト」の開催

4. 今後について

損保ジャパン日本興亜は、上記取組みに加えて、自治体の早期避難勧告等の発令を支援する「防災・減災費用保険制度」の普及も支援していきます。今後も地方自治体の地域防災力向上のため、安心して暮らせる安全な地域社会を創生することに貢献していきます。

以上